

1. 文字数

『コリアン・スタディーズ』に掲載される各論文の文字数は、論文の種別ごとに以下のとおりとする。いずれの論文も、注、図表、写真、参考文献表記などを含む。投稿論文、研究ノートは文字数を超過した場合、審査対象としないこともある。

- a. 特集論文 12,000 字程度
- b. 投稿論文 20,000 字以内
- c. 研究ノート 15,000 字以内
- d. キルチャビ 8,000 字以内
- e. 書評 3,000 字～4,000 字以内

2. 原稿

A4 判、1 ページ 35 行、1 行40 字とし、ワープロソフトで作成のうえ、Microsoft Word 形式（doc.もしくは docx.）もしくはリッチテキスト形式（.rtf）で提出する。上記以外での提出については、問い合わせ先に連絡すること。必要に応じて印刷された原稿の郵送を求めることがある。

3. 本文

(1) 基本用語

- a. 原稿は日本語、横書きとする。図表や図版は原稿本文に組み込み、紙幅の制限内に含める。
- b. 人名・地名は漢字、カタカナ、ローマ字、アルファベットのいずれかで表記する。度量衡を記載する場合、記号はカタカナ表記とする。

(2) 数字

- a. 数字はアラビア表記を原則とし、場合に応じて漢数詞を用いる。
- b. 年号は西暦を用い、国家・地域固有の年号を使用する際は西暦を（ ）で付記する。

(3) 見出し

- a. 章はアラビア数字で1. 2. 3・・・と表す。「はじめに」と「おわりに」（あるいはそれ等に該当する見出し）にも数字を振る。「はじめに」は1とする。
- b. 章以下の節は（1）、（2）、（3）の順で表す。
- c. 節以下の項は a、b、c の順で表す。

（例）

第1章⇒1、第1節⇒（1）、第1項⇒a

4. 文献引用

- (1) 本文や注、図表で文献を表記する際は、編著者の姓（刊行年：ページ）のみ表記し、文献の詳細は参照文献リストに表示する。同姓の場合、名をつけるなど区別がつくように表記する。編著者名が付いていない刊行物の場合は、発行機関名を表記する。

（例）

文献全体を示す場合

鈴木[2005]，朴統一[2011]によれば・・・

文献の一部を示す場合

…投票率は低かったとされる[キムハヌル 2012: 11-13]。

- (2) 2 度目以降の引用でも前掲書・前掲論文、同上書・同上論文などの用語は使用せず、上記（1）のように表記する。
- (3) 新聞・雑誌記事や社説の場合は本文・注・図表に新聞・雑誌名、発行年月日を記した上で、参考文献リストに新聞・雑誌名を入れる。

（例）…保守言論による歪曲は深刻である[『月刊朝中東』2001 年 1 月]。

…と指導者は発言している[『労働新聞』2012 年 4 月 16 日]。

5. 注

- (1) 注は、本文の内容について文脈上の解説や言及をする必要がある場合に用いる。
- (2) すべて文末注とし、片カッコ付アラビア数字で表示する。

（例）

1)、2)、3)・・・

6. 図表

- (1) 図表のタイトルは、図の場合は図の下に、表の場合は表の上に付ける。
- (2) 刷り上がり 1/2 ページ大の場合は 500 字分、刷り上がり 1/4 ページ大の場合は 250 字分として換算する。

7. 参考文献

- (1) 本文、注記、図表で用いたすべての文献を「参考文献」として本文の最後一括して表示する。参考文献とは、本文中または注において引用した文献を指す。
- (2) 文献リストは言語ごとに分け、日本語文献は著者名の 50 音順、韓国・朝鮮語文献は著者名のカナダラ順などに並べる。
- (3) 参考文献については、著者名・（刊行年）・書名・号数（発行年月日を入れてもよい）・発行所・頁等で示す。筆者名のある新聞・雑誌記事は雑誌論文と同様に表記し、発行年月日も記入する。

- (4) 英文文献の場合、書名はイタリックで表記する。論文名は単行本所収か雑誌所収かに関わらず一律クォーテーション・マークで括る。

(例)

単行本の場合

- ・朴一 (2005) 『朝鮮半島を見る眼－「親日と反日」「親米と反米」の構図』 藤原書店、pp.123-125.
- ・이광우 (2004) 『신경과학』 범문사, pp.153.
- ・Kim, L. (1997). Imitation to Innovation: The Dynamics of Korea's Technological Learning. Boston: Harvard Business School Press.

論文の場合

- ・文京洙 (2005) 「戦後 60 年と在日朝鮮人 "国民" の呪縛を超えて」『思想』No.980、岩波書店、pp.8-9.
- ・김신일 (1991) 「교육자치의 당위성과 현실」 『교육학연구』 Vol21, 교육출판, pp.11-18.
- ・Min, Pyong Gap. (2001). "Koreans in New York: An 'Institutionally Complete' Community." New Immigrants in New York, edited by Nancy Foner, New York: Columbia University Press, pp.173-200.
- ・Koh, Y.S . (2008). "Financial and Corporate Reform in Korea: Survival Strategies of the Korean "Chaebols"" , Asian Studies, 54(2), pp.71-88.

8. 要旨

投稿論文には日本語要旨ならびに英語要旨を付け加える。日本語要旨は「要旨」とし、400～800 字とする。英語要旨は「Abstract」とし、200～400 ワードとする。これらは全体の文字数に含まれない。英語要旨は、原則、査読審査合格後に英語キーワードとともに提出する。

9. キーワード

投稿論文には日本語、英語でいずれも 5 語以内でキーワードを付けること。キーワード間は読点ではなくコンマを入れること。これらは全体の文字数に含まれない。英語キーワードは、原則、査読審査合格後に英語要旨とともに提出する。

10. タイトル

日本語および英語で付けること。